

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-507268 (P2005-507268A)
 【公表日】平成 17 年 3 月 17 日 (2005.3.17)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-011
 【出願番号】特願 2002-576797 (P2002-576797)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 17/42

A 6 1 B 17/12

A 6 1 B 18/00

A 6 1 M 25/00

【F I】

A 6 1 B 17/42

A 6 1 B 17/12

A 6 1 M 25/00 3 1 4

A 6 1 B 17/36 3 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 10 月 6 日 (2004.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の膣の頭蓋の円蓋の壁に隣接する女性患者の子宮動脈に圧力を印加するための膣内装置であって、

a. 遠位の端部および、患者の膣の導管から広げるように構成された、近い方の端部を有するハンドル、

b. ハンドルの遠位の端部に位置し、そして、膣の頭蓋の円蓋に接近する、患者の子宮動脈の少なくとも一つを閉塞するために、患者の膣の頭蓋の円蓋を圧するように形成された遠位の端面を有する圧力印加部分、および

c. 患者の子宮動脈を位置決めするために、圧力印加部分上の血流センサ、を備える装置。

【請求項 2】

前記圧力印加部分は、第 1 の圧力印加面および前記第 1 の圧力印加面から隔てられた第 2 の圧力印加面を備える請求項 1 記載の装置。

【請求項 3】

前記血流センサは、前記圧力印加部分の遠位の端面からそれた検査方位を有する少なくとも一つのドップラー水晶を備える請求項 2 記載の装置。

【請求項 4】

前記少なくとも一つのドップラー水晶は遠位の端面に開放自在に取り付けられる請求項 3 記載の装置。

【請求項 5】

前記少なくとも一つのドップラー水晶は圧力印加部分の遠位の端面に一体的に形成される請求項 3 記載の装置。

【請求項 6】

前記少なくとも一つのドップラー水晶は圧力印加部分に取り付けられた多数のドップラー水晶を備える請求項 3 記載の装置。

【請求項 7】

前記ドップラー水晶の各々は、平行な検査方位を有する請求項 6 記載の装置。

【請求項 8】

前記ドップラー水晶の各々は、遠位の端面と直交した検査方位を有する請求項 6 記載の装置。

【請求項 9】

前記ドップラー水晶は、発散する検査方位を有する請求項 6 記載の装置。

【請求項 10】

前記ドップラー水晶は、多数の検査方位を有し、前記多数の検査方位の第 1 のものは、圧縮用部分の遠位の端面と直交し、そして少なくとも検査方位の第 2 のものは、第 1 の検査方位に対して角度を有する請求項 6 記載の装置。

【請求項 11】

前記ドップラー水晶は圧力印加部分の遠位の端面に開放自在に取り付けられる請求項 6 記載の装置。

【請求項 12】

前記ドップラー水晶は遠位の端面に一体的に形成される請求項 6 記載の装置。

【請求項 13】

前記ドップラー水晶は等間隔で互いに隔て配置される請求項 6 記載の装置。

【請求項 14】

遠位の端面からそれる方向の検査方位を有する前記圧力印加部分に取り付けられた少なくとも一つのドップラー水晶を更に備える請求項 1 記載の装置。

【請求項 15】

少なくとも一つのドップラー水晶は、遠位の端面に開放自在に取り付けられる請求項 14 記載の装置。

【請求項 16】

少なくとも一つのドップラー水晶は、遠位の端面に一体的に形成される請求項 14 記載の装置。

【請求項 17】

少なくとも一つのドップラー水晶は、圧力印加部分に取り付けられた多数のドップラー水晶を有する請求項 14 記載の装置。

【請求項 18】

少なくとも一つのドップラー水晶の各々は、検査方位を有し、前記ドップラー水晶の検査方位は平行である請求項 17 記載の装置。

【請求項 19】

ドップラー水晶は、発散する方位を含む検査方位を有する請求項 17 記載の装置。

【請求項 20】

前記ドップラー水晶の検査方位は、多数の検査方位を有し、前記多数の検査方位として第 1 の検査方位は、圧縮用部分の遠位の端面と直交し、そして少なくとも第 2 の検査方位は、第 1 の検査方位に対して角度を有する請求項 17 記載の装置。

【請求項 21】

前記ドップラー水晶は圧力印加部分の遠位の端面に開放自在に取り付けられる請求項 17 記載の装置。

【請求項 22】

前記ドップラー水晶は圧力印加部分の遠位の端面に一体的に形成される請求項 17 記載の装置。

【請求項 23】

前記ドップラー水晶は等間隔で互いに隔て配置される請求項 17 記載の装置。

【請求項 24】

前記側面は凹面である請求項 1 記載の装置。

【請求項 25】

前記側面は平面である請求項 1 記載の装置。

【請求項 26】

膣の頭蓋の円蓋に接近した患者の子宮動脈を閉塞するための膣内装置であり、

a. 遠位の端部および、患者の膣の導管から広げるように構成された、近い方の端部を有するハンドル、および

b. 遠位の端面を含む一对の圧力印加部を持ち、かつ、女性患者の子宮の頸部を受け取るように形成された中空内部スペースを持つ、ハンドルの遠位の端部に位置する円筒状圧力印加部分、

を備え、子宮動脈の周囲に前記圧力印加部が位置した時に、双方の子宮動脈を閉塞できるように、遠位の端面が、女性患者の膣の頭蓋の円蓋に対して位置する装置。

【請求項 27】

前記圧力印加部分の中空のスペースは、約 2 cm～約 4 cmである請求項 26 記載の装置。

【請求項 28】

前記円筒状の圧縮用部分の中空のスペースは、約 3 cmの内径を有する請求項 26 記載の装置。

【請求項 29】

圧力印加部分の遠位の端部に取り付けられた少なくとも一つのドップラー水晶を更に備える請求項 26 記載の装置。

【請求項 30】

少なくとも一つのドップラー水晶は、圧力印加部分の遠位の端面と直交する検査方位を有する請求項 29 記載の装置。

【請求項 31】

前記少なくとも一つのドップラー水晶は遠位の端面に開放自在に取り付けられる請求項 29 記載の装置。

【請求項 32】

前記少なくとも一つのドップラー水晶は圧力印加部分の遠位の端面に一体的に形成される請求項 29 記載の装置。

【請求項 33】

前記圧力印加部分に取り付けられた多数のドップラー水晶を更に備える請求項 26 記載の装置。

【請求項 34】

ドップラー水晶の各々は、平行な検査方位を有する請求項 33 記載の装置。

【請求項 35】

前記ドップラー水晶の各々は、遠位の端面と直交した検査方位を有する請求項 33 記載の装置。

【請求項 36】

前記ドップラー水晶は、発散する検査方位を有する請求項 33 記載の装置。

【請求項 37】

前記ドップラー水晶は、多数の検査方位を有し、少なくとも第 1 の多数の検査方位は、圧力印加部分の遠位の端面と直交し、そして少なくとも第 2 の多数の検査方位は、第 1 の検査方位に対して角度を有する請求項 33 記載の装置。

【請求項 38】

前記ドップラー水晶は圧力印加部分の遠位の端面に開放自在に取り付けられる請求項 33 記載の装置。

【請求項 39】

前記ドップラー水晶は圧力印加部分の遠位の端面に一体的に形成される請求項 33 記載の装置。

【請求項 40】

前記ドップラー水晶は等間隔で互いに隔て配置される請求項 3 3 記載の装置。

【請求項 4 1】

前記遠位の端面に少なくとも一つの切り取りを更に備える請求項 2 6 記載の装置。

【請求項 4 2】

前記圧力印加部分は、近い方の端部および遠位の端面内の少なくとも一つの切り取りを含み、前記切り取りは、基部に遠位の端面の近傍から近い方の端面へ延在するスロットを含む請求項 3 3 記載の装置。

【請求項 4 3】

前記圧力印加部分の遠位の端面に二つの切り取りを更に備える請求項 2 6 記載の装置。

【請求項 4 4】

前記二つの切り取りは、遠位の端面の対向する側に位置する請求項 4 3 記載の装置。

【請求項 4 5】

前記圧力印加部分は、近い方の端部を有し、そして更に、圧力印加部分の遠位の端面近傍から圧力印加部分の近い方の端面へ延在する一対のスロットを含む請求項 4 3 記載の装置。

【請求項 4 6】

患者の子宮動脈を圧縮するのに有用な装置であって、

遠位の端部、近い方の端部および側面を有する圧力印加部分と、

圧力印加部分の近い方の端面に取り付けられた力伝達ブロックと、および

力伝達ブロックに取り付けられ、圧力印加部分の近傍へ延在する把持装置を備える装置

。

【請求項 4 7】

前記圧力印加部分および力伝達ブロックに取り付けられた力発生用要素を更に備える請求項 4 6 記載の装置。

【請求項 4 8】

前記力発生用要素はヘリカルスプリングを備える請求項 4 7 記載の装置。

【請求項 4 9】

前記圧力印加部分は円筒状で中空の内部スペースを含み、そして、前記把持装置は、圧力印加部分の中空内部へ延在する請求項 4 6 記載の装置。

【請求項 5 0】

前記力伝達ブロックは、開放可能なロックを含み、この開放可能なブロックにより、前記把持装置が前記力伝達ブロックに取り付けられる請求項 4 6 記載の装置。

【請求項 5 1】

前記把持装置は、

a. 前記力伝達ブロックに取り付けられ、圧力印加部分に接近して延在する第 1 の要素と、

b. 近い方の端部、遠位の端部および爪を含む第 2 の要素と、

c. 第 1 の要素を第 2 の要素に取り付けるピボットとを備え、第 2 の要素の爪はピボットの遠位に位置する請求項 4 6 記載の装置。

【請求項 5 2】

前記把持装置は更に、第 1 の要素と第 2 の要素とを接続する開放可能なロックを備える請求項 5 1 に記載の装置。

【請求項 5 3】

圧力印加部分の近い方の端部は、前記力伝達ブロックの遠位の端部が前記把持装置から側方へひろがる距離よりも小さく、把持装置から側方にひろがる請求項 4 6 記載の装置。

【請求項 5 4】

前記側面は凹面である請求項 4 6 記載の装置。

【請求項 5 5】

前記側面は平面である請求項 4 6 記載の装置。

【請求項 5 6】

患者の子宮動脈に圧力を印加するための装置であって、
遠位の端面、近い方の端部および側面を有する圧力印加部分と、

引っ込めた位置と側方に膨らんだ位置との間で移動可能な少なくとも一つの要素を有する拡張器とを備え、

拡張器が患者の子宮頸管の中へ挿入された時、圧力印加部分は、患者の子宮頸管の外側に接近して位置し、そして、少なくとも一つの要素は、引っ込めた位置から側方へ膨らんだ位置へ移動し、子宮頸管は、少なくとも一つの要素と圧力印加部分との間で挟まれることを特徴とする装置。

【請求項 57】

前記拡張器は、

a. 第1および第2のハンドルと、

b. 前記第1および第2のハンドルにそれぞれ接続された第1および第2のアームと、

c. 第1および第2のハンドルを回転可能に相互接続するピボットとを備える請求項56記載の装置。

【請求項 58】

第1のハンドルおよび第1のアームは、ピボットの箇所で第2のハンドルおよび第2のアームと交差する請求項57記載の装置。

【請求項 59】

第1および第2のハンドルが互いに近接した時、第1および第2のアームが互いに近接するように、第1および第2のハンドルおよび第1および第2のアームが構成、配置される請求項57記載の装置。

【請求項 60】

第1のアーム上に外側側方に広がる少なくとも一つの把持部を備える請求項57記載の装置。

【請求項 61】

第1および第2のアームの各々に把持部を備え、各把持部は外側側方に広がる請求項57記載の装置。

【請求項 62】

前記拡張器は、内部に広がる管腔および遠位の端部を有するカニューレ、および、管腔と流体連絡する、カニューレの遠位端部の近傍にマウントされた膨張部材を備える請求項56記載の装置。

【請求項 63】

前記拡張器は、

a. 内部に管腔を有し、遠位の端部を有するカニューレと、

b. カニューレの管腔内に延在し、そして、カニューレの遠位端部の末端部を広げるロッドと、

c. カニューレの遠位の端部とロッドの遠位の端部との間で広がる少なくとも一つの折り曲げ可能な要素を含む少なくとも一つの可動要素とを備え、

ロッドを近い方に引いた時、折り曲げ可能な要素が曲がり、側方に広がるように本装置が構成され、配置される請求項56記載の装置。

【請求項 64】

少なくとも一つの折り曲げ可能な要素は、第1のアーム、第2のアーム、およびピボットを備え、そして、第1のアームはロッドの遠位の端部とピボットとに結合され、第2のアームは、ピボットとカニューレの遠位の端部とに結合される請求項63記載の装置。

【請求項 65】

少なくとも一つの折り曲げ可能な要素は、多数の第1のアーム、多数の第2のアーム、および多数のピボットを備え、多数の第1のアームはロッドの遠位の端部と多数のピボットとに結合され、多数の第2のアームは、多数のピボットとカニューレの遠位の端部とに結合される請求項63記載の装置。

【請求項 66】

少なくとも一つの折り曲げ可能な要素は湾曲を有する請求項 6 3 記載の装置。